⑧ フローリング張り

単層フローリング (19.5.2～19.5.6)(表19.5.1～表19.5.4)

品　名	工　法	厚さ(mm)	大きさ(mm)	樹　種	備　考
・フローリングボード	・釘留め工法 ・接着工法	※15 ・	※幅75 ・	※なら ・	
・フローリングブロック	・モルタル埋込工法 ・接着工法	※15 ・	※303×303 ・	※なら ・	
・モザイクパーケット	接着工法				

複合フローリング

品　名	工　法	種 別	厚さ(mm)	大きさ(mm)	樹　種
・複合１種フローリング ・複合２種フローリング ・複合３種フローリング	・釘留め工法 ・接着工法	・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種	※12 ・15 (ひき板の厚さ) ・3mm以上 ※表19.5.4		※なら ・
⊙複合圧密厚貼フローリング	⊙圧密工法	表層：3mm(杉材60%プレス圧縮) 台板：12mm(ラワン合板) (階段部は7mm程度(ラワン合板))			

接着工法の場合の緩衝材　※合成樹脂発泡シート　・ (19.5.5)

塗装　⊙工場塗装　※ウレタン樹脂ワニス塗り・
　・現場塗装　※ウレタン樹脂ワニス塗り・Ａ種　※Ｂ種 (19.5.7)(表18.11.1)
　・オイルステイン塗りのうえワックス塗り (19.5.7)(表18.13.1)
　・生地のままワックス塗り(自然塗料)

複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 (19.5.2)
　※Ｆ☆☆☆☆，またはそれと同等と認められるもの

⑨ 畳敷き

種別　※Ｄ種 (畳床・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ　※KT-Ⅲ・KT-K・KT-N)・ (19.6.1)(19.6.2)

⑩ せっこうボードその他のボード及び合板張り

材料 (19.7.2)(表19.7.1)

種　類	JISの記号	厚さ(mm)　規格等
・硬質木毛セメント板	HW	・15　・20　・25
・普通木毛セメント板	NW	・15　・20　・25
・硬質木片セメント板	ＨＦ	・12　・15　・18　・21
・普通木片セメント板	ＮＦ	・30
⊙けい酸カルシウム板 (ノンアスベスト)	0.8ＦＫ 1.0ＦＫ	タイプ2(無石綿)　・6　・8　⊙図示
・化粧けい酸カルシウム板		・6　・
⊙ロックウール化粧吸音板	ＤＲ	※フラットタイプ(※9(不燃)　・12　・　) ・凹凸タイプ(※12(不燃)　・15　・　)
・ロックウール吸音ボード１号	RW-B	※25
・グラスウール吸音ボード２号32K	GW-B	※25 (ガラスクロス包)
⊙せっこうボード	ＧＢ-Ｒ	⊗12.5(不燃)　・15(不燃)　⊙9.5(準不燃)
⊙不燃積層せっこうボード	ＧＢ-ＮＣ	9.5(不燃)　・化粧無(下地張り用) ⊙化粧有(トラバーチン模様)
⊙シージングせっこうボード	ＧＢ-Ｓ	12.5(・③不燃　・④不燃)
⊙強化せっこうボード	ＧＢ-Ｆ	・12.5(不燃)　⊙15(不燃)　⊙21
・せっこうラスボード	ＧＢ-Ｌ	・9.5　・12.5
⊙化粧せっこうボード	ＧＢ-Ｄ	⊙9.5(不燃)　・12.5(不燃)
・普通合板		表板の樹種名 ・生地，透明塗料塗り(ラワン程度) ・不透明塗料塗り(しな程度) 板面の品質 (　　) 厚さ(mm) (　　) 接着の程度　・１類　・２類 ・防虫処理・難燃処理・防炎処理
⊙コンクリート型枠用合板		厚さ(mm) (　18　)
・構造用合板		厚さ(mm) (　　)
⊙天然木化粧合板		化粧板の樹種名 (⊙図示　　) 接着の程度　⊙１類　・２類 厚さ(mm) (・⊙図示　　) ・防虫処理・難燃処理・防炎処理⊙不燃処理
⊙特殊加工化粧合板 (⊙メラミン樹脂化粧板　) (⊙ポリエステル樹脂化粧板　) (・プリント合板　) (・　)		表面性能　・Ｆ　・FW　⊙W　・SW 接着の程度　・１類　⊙２類 厚さ(mm) (２.５) ・防虫処理⊙難燃処理・防炎処理
・ミディアムデンシティファイバーボード	ＭＤＦ	・3　・7　・9　・12
・単板張りパーティクルボード		・未研磨板　・研磨板 ・10　・12　・15　・18
・化粧パーティクルボード		・単板オーバーレイ ・塗装　・プラスチックオーバーレイ ・10(難燃)　・12(難燃)
・ハードボード(素地)	ＨＢ	・未研磨板(・スタンダード　・テンパード　) ・研磨板　(・スタンダード　・テンパード　)
・ハードボード(化粧)	ＨＢ	・内装用　・外装用 ・2.5　・3.5　・5　・7
・インシュレーションボード	ＩＢ	Ａ級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18

せっこうボードの目地処理の種類 (19.7.3)(表19.7.5)

目地工法の種類	せっこうボードのエッジの種類
継目処理工法	・テーパーエッジ　⊙ベベルエッジ　・スクェアエッジ
突付け工法	※ベベルエッジ
目透し工法	・スクェアエッジ

合板類の張付け　・Ａ種　※Ｂ種 (19.7.3)(表19.7.3)

パーティクルボード，ＭＤＦ及び合板のホルムアルデヒド放散量 (19.7.2)
　※Ｆ☆☆☆☆，またはそれと同等と認められるもの

遮音壁に用いるシール材　⊙シーリング材　・ジョイントコンパウンド (19.7.2)

⑪ 壁紙張り (図示：クロス)

壁紙　⊙図示 (19.8.2)

品　質（程度）	防火性能	施　工　箇　所
⊙図示	・不燃　⊙準不燃　・難燃	⊙図示
	・不燃　・準不燃　・難燃	
	・不燃　・準不燃　・難燃	

素地ごしらえ　モルタル面及びプラスター面　・Ａ種　※Ｂ種 (19.8.3)(表18.2.5)
　コンクリート面及びＡＬＣ面　・Ａ種　※Ｂ種 (19.8.3)(表18.2.5)
　せっこうボード面及びその他ボード面　・Ａ種　※Ｂ種 (19.8.3)(表18.2.7)

壁紙のホルムアルデヒド放散量 (19.8.2)
　※Ｆ☆☆☆☆，またはそれと同等と認められるもの

⑫ 断熱・防露

断熱材打込み工法の材料 (JIS A9511による) (19.9.2)

種　類	等　級	厚さ (mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板	・	・	
※押出法ポリスチレンフォーム保温板	※Ａ種２種ｂ ・	※25 ・	⊙図示
※押出法ポリスチレンフォーム保温板(接地部分)	※Ａ種３種ｂ ・	※25 ・	⊙図示
・硬質ウレタンフォーム保温板	※Ａ種１種 ・	※25 ・	
・フェノールフォーム保温板	・	・	

フェノールフォーム保温板のホルムアルデヒド放散量 (19.9.2)
　※Ｆ☆☆☆☆，またはそれと同等と認められるもの

断熱材現場発泡工法の材料 (JIS A9526　による) (19.9.3)
　※Ａ種１　・Ｂ種１
　厚さ(mm)　・25　・30
　製造所　評価名簿による

⑬ 吸音材

材　種	種　類	厚さ (mm)
・ロックウール吸音材(ガラスクロス包み)	ロックウール吸音ボード１号60Ｋ	・25
⊙グラスウール吸音材(ガラスクロス包み)	吸音用グラスウールボード２号32Ｋ	⊙25 ○35 ○50

ホルムアルデヒド放散量
　※Ｆ☆☆☆☆，またはそれと同等と認められるもの

⑭ 接着剤

壁紙，ビニル床タイル，ビニル床シート，幅木，フローリングその他内装に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※Ｆ☆☆☆☆，またはそれと同等と認められるもの

⑮ 19.1.4 見本・施工見本　追補

a.主な材料で監督職員の指示するものは，あらかじめ見本又はカタログを提出し監督職員の承諾を受ける。

9節　断防・防露

⑯ [付加]

a.次の箇所に、吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材を露出して使用する場合は、表面に防火コートを施す。
　⊗内装制限が及ぶ室内及び天井裏　(仕様：図示　　)
　⊗PS、EPS、DS　(仕様：図示　　)
　⊗電気室、機械室等　(仕様：図示　　)
　⊙内装制限が及ばない天井裏等　(仕様：図示　　)
　・　(仕様：　　)

12節　クロス張りペンキ仕上げ　追補

⑰ 19.12.1 材料 19.12.2 工法

a.クロス張りペンキ仕上げ
　1)材質・塗装の種類・性能
　　※設計図による
　2)クロス張りペンキ仕上げのホルムアルデヒドの放散量
　　※F☆☆☆☆
b.下地用クロスは、不燃ガラス繊維織物で、毛羽立ち及びほつれ防止加工を施した伸縮性の少ないものとする。模様織りクロスは、模様が規則正しく織られたものとする。
c.クロス張り用接着剤は、標仕[19.8.2 (b)]によるものとする。塗布量は0.15～0.18 kg/㎡とし、ペンキ仕上げによる伸縮に耐える強度を持つものとする。
d.下塗り用塗料は、クロスを短時間に被覆し上塗り塗料の吸込みを防ぎ、接着効果の高い合成樹脂エマルションペイントシーラーとする。
e.上塗り用塗料は合成樹脂エマルションペイント(JIS K 5663)の1種(外部用)とする。
f.不燃認定仕様とする場合は、各種材料・工程等は認定仕様による。

ユニット及びその他工事

① フリーアクセスフロア

材料等 (20.2.2)

施工箇所	構法	表面仕上げ材の材質	寸法 (mm)	高さ (mm)	所定荷重 (N)	耐震性能
⊙図示		※タイルカーペット ・帯電防止ビニル床タイル ・	※500×500	図示	⊙3000 ・5000 ⊙図示	⊙1.0G ・0.6G

寸法精度　20.2.2(b)(5)　による
製造所　評価名簿による (20.2.2)

② 可動間仕切

JIS A 6512　による他は次による (20.2.3)

構 造 形 式	構成基材(JIS記号) スタッド	構成基材(JIS記号) パネル	表面仕上材 材質	表面仕上材 厚さ(mm)	表面仕上材 パネル表面仕上げ	不燃認定	遮音性(db /500HZ)
・パネル式	・AL	・w	⊙鋼板	⊙0.6	※メラミン樹脂塗料		・12
⊙スタッド式(内蔵)	⊙ST	⊙st	・	・0.8	又はアクリル樹脂	⊙	・20
・スタッド式(露出)	・	・al			塗料焼付け		⊙28
・スタッドパネル式		・			・		⊙36以上

割付及びパネル内の建具　※図示
製造所　評価名簿による (20.2.4)

③ 移動間仕切

パネルの操作方法の種類　※手動式・電動式・部分電動式

パネル圧接装置の操作方法	表面仕上げ	遮　音　性　能	表面材の材質
・プッシュ式 ⊙ハンドル回転式	⊙焼付け塗装 ・壁紙張り	※一般タイプ (36dB未満) ⊙遮音タイプ (47dB以上)	※鋼板 ・

ハンガーレール取付け下地補強　※ 20.2.4(c)(3)　による
⊙ハンガーレール固定用あと施工アンカーは行わない。
材質 (⊙図示　　)　寸法 (⊙図示　　)
製造所　評価名簿による

④ トイレブース

パネル表面材※図示・メラミン樹脂系化粧板・ポリエステル樹脂系化粧板 (20.2.5)
脚部　※図示・幅木タイプ
製造所　評価名簿による

⑤ 階段滑り止め

材種　※ステンレス製(SUS304)タイヤ入り (20.2.6)
幅(mm)　※約35
工法　※接着工法・押込み工法

6 黒板及びホワイトボード

・黒板　種類※焼付け　形式・曲面　・平面 (20.2.8)
・ホワイトボード　種類※ほうろう　形式・曲面　・平面
※上げ下げ式　・固定式

⑦ 鏡

厚さ(mm)　※5.0　・6⊙　・8.⊙ (20.2.9)
※耐食仕様

⑧ 表示

室名札等　⊙図示 (20.2.10)

区　分	材質・厚さ(mm)	印刷等の種別	色彩	取付形式	書　体
・室名札 ・ピクトグラフ ・とびら番号 ・非常用進入口 ・	※図示 ・アクリル板 (※5.0　・　)	※シルクスクリーン印刷 ⊙カッティングフィルム インクジェット印刷			
・建物案内板 ・各階案内板 ・	※アクリル板 (※8.0　・　)	※シルクスクリーン印刷 ⊙カッティングフィルム インクジェット印刷			

⊙対人衝突防止表示　※図示 (20.2.10)

9 煙突ライニング

煙突用成形ライニング材　製造所　評価名簿による (20.2.11)
キャスタブル耐火材　工法　※こて押え　・
　最高使用温度　※400℃

⑩ ブラインド

(20.2.12)

形式	※横形ブラインド	・縦形ブラインド
スラットの材種	※アルミニウム合金製 ・	・アルミスラット ・クロススラット
開閉方式	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式　・電動式	・１本操作コード方式　・電動式 ※２本操作コード方式
スラットの成形幅(mm)	※25　⊙35	・80　・100　・
ヘッドボックスの材種	※鋼製　・	アルミニウム製
ボトムレールの材種	※鋼製　・	アルミニウム製

⑪ ロールスクリーン

(20.2.13)

操作方式	スクリーンの材種	品　質	備　考
・スプリング式 ⊙チェーン式　⊙電動式	⊙ガラス繊維製　・布製 ・木製　・	⊙図示	図示

巻取りパイプその他の材料　※製造所の仕様による

⑫ カーテン

※図示による (20.2.14)(表20.2.1)

形　式	開閉操作方式	ひだの種別	きれの品質等
・シングル ⊙ダブル	・片引き ⊙引分け	⊙手引き ・ひも引き ・電動	⊙プレーンひだ　・片ひだ ・箱ひだ　・つまひだ ・フランスひだ　・シャーリング	⊙厚地 ・薄地 ⊙8,270円/㎡程度 ⊙1,050円/㎡程度

暗幕用カーテンの上部及び召合せの重なり　※ 300mm以上　・

⑬ カーテンレール

レール及び附属金物 (20.2.14)

強さの区分	材　料	仕　上　げ	形　状	附属金物
・10-60 ※10-90	※アルミニウム製 ・ステンレス製	※アルマイト ・木製	※角形 ・	・

⑭ 天井見切縁

材種　⊙アルミニウム製(焼付塗装)　※⊙塩ビ

15 コーナービード

材種　※ステンレス　・アルミニウム合金

⑯ 点検口

形式	材　種	寸　法	形　式 一般形	外　枠	内　枠	鍵
天井	※アルミニウム製 ・	※450×450 ⊙600×600 ・	・密閉形	⊙額縁タイプ ・目地タイプ	・額縁タイプ ⊙目地タイプ	※なし ⊙あり
床	・アルミニウム製 ⊗ステンレス製 ⊙鋼鉄製	・450×450 ※600×600 ⊙600φ	⊙一般形 ⊙結露防止形 ⊙屋内外用	⊙密閉形 ⊙屋内用		・なし ※あり

製造所　評価名簿による

⑰ ステンレス流し台

※図示　・優良住宅部品

18 コンロ台

※図示　・優良住宅部品

⑲ 吊戸棚

※図示　・優良住宅部品

⑳ 水切り棚

※図示　・優良住宅部品

㉑ くつふきマット

材種　・ステンレス鋼(SUS304)　(受わく　ステンレス鋼(SUS304))
　・硬質アルミニウム合金　(受わく　硬質アルミニウム合金)
　⊙塩ビ製＋アルミ押出形材 (枠ステンレス製)

㉒ 鍵箱

(100　) 本用 (　3　) 個

㉓ 収納家具等の材料

合板類，ＭＤＦ及びパーティクルボード，収納家具等製作の伴い使用する接着剤のホルムアルデヒド放出量
　※Ｆ☆☆☆☆，またはそれと同等と認められるもの

㉔ フェンス

フェンスの種類　⊗図示
・樹脂塗装メッシュフェンス　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装目かくしフェンス　・格子フェンス
・亜鉛メッキネットフェンス　・アルミフェンス
高さ　※図示

㉕ 車止めさく

形　式		柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)
※上下式鎖内蔵式 (※標準品・スプリング付)	※ステンレス製 ・	※φ76.3　t=2.0 ・	※ＧＬ＋850 ⊙700

26 耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能	備　考
・垂直方向 ・水平方向	・完全 (全貫通型) ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	

目地(目地材の材質は表9.6.1による)

目　地	内　壁	外　壁
目地材	シーリング材 (見え掛かり部のみ)	シーリング材 (見え掛かり部のみ)
目地寸法(mm)	・幅20×深さ10 ・	・幅20×深さ10 ・

㉗ エキスパンションジョイント金物

材質　⊙アルミニウム　⊙ステンレス
クリアランス　・50　・100　・150　○ 追補による
耐火性能　⊙有り (　　)　・無し
外部は防水型とする

㉘ 吸水土嚢

海水対応(600x400程度)　200枚
(監督職員の指示する場所に設置すること。)

1節　一般事項

㉙ 20.2.3 可動間仕切 [(b)(2)置換] [付加] [付加]

a.耐震性能
　※「工事概要書 2-3 総合耐震クライテリア」による
b.天井裏の間仕切壁　⊙あり(施工箇所　議員控室　)　・なし
c.ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆

㉚ 20.2.18 格納式避難はしご　追補

a.形式は、次による。
　・避難ハッチ(・スラブ型　・吊り天井型(目隠しボックス付))
　　操作位置(※上階操作　・上下階操作)
　　収納ケースの材種(※ステンレス製　・鋼製焼付け塗装)
　⊙救命袋
　⊙緩降機
b.避難器具は認定品とし、消防法等に適合した施工とする。
c.はしご材は、耐食性のあるものとする。
d.アンカーの取付けは、コンクリート打込み前の先付けとし、はしごの長さ2mごと及び余長に積載荷重1,500Nを見込んだ強度とする。

排水工事

① 排水管

材料　※表21.2.1による (材種，管の種類，呼び径等は図示による) (21.2.1)

② 排水桝及びふた

(21.2.2)

名　称	種　類	荷重(安全荷重(KN))	鍵
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ⊙簡易密閉形(パッキン式) ⊙密閉形(テーパ・パッキン式) ⊙中ふた付密閉形(テーパ・パッキン式)	⊙T- 2用 (5) ⊙T- 6用 (15) ⊙T-20用 (50) ・	・有り ・無し

製造所　評価名簿による

③ 地業用材料

※切込み砂利，切込み砕石　・再生クラッシャラン (4.6.2)(21.2.3)

④ 埋戻し土

・Ａ種 ※ Ｂ種 ・ Ｃ種 ・ Ｄ種 (21.2.3)(表3.2.1)

⑤ グレーチング

⊙鋼製グレーチング (21.2.2)

型　式	用　途	適用荷重	メインバーピッチ 普通目	メインバーピッチ 細　目	メインバー上面の形状 平　型	メインバー上面の形状 凹凸型
※受枠付 ・	⊙溝ふた用 ⊙ますふた用 ⊙かさあげ用 ⊙Ｕ字溝用	⊙歩行用 ⊙Ｔ－ 2用 ⊙Ｔ－ 6用 ⊙Ｔ－14用 ⊙Ｔ－25用	・ ⊙ ・ ⊙ ⊙	⊙ ・ ・ ⊙ ⊙	・ ⊙ ・ ⊙ ⊙	・ ⊙ ・ ⊙ ⊙

⊙ステンレス製グレーチング

型　式	用　途	適用荷重	メインバーピッチ 普通目	メインバーピッチ 細　目	メインバー上面の形状 平　型	メインバー上面の形状 凹凸型
※受枠付 ・	⊙溝ふた用 ・ますふた用 ・かさあげ用 ・Ｕ字溝用	⊙歩行用 ・Ｔ－ 2用 ・Ｔ－ 6用 ・Ｔ－14用 ⊙Ｔ－25用	⊙ ・ ・ ・ ・	⊙ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	⊙ ・ ・ ・ ・

騒音防止ゴム　⊙適用する (車両が通行する部分はボルト締めタイプとする。)
製造所　評価名簿による

1節　一般事項

⑥ 21.1.3 雨水排水計画書　追補

a.設計図の雨水排水計画に基づき、着工後速やかに敷地全般を含めた雨水排水計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。異種工事や関連工事の取合いとなる部分では齟齬のないように、施工計画調整を行う。
b.雨水排水計画については、「工事概要書 2-1 建築設計条件」の降雨条件により受注者にて再計算し、施工に反映する。この場合、必要な桝、とい部材等は、本工事に含まれるものとする。

着工	平成 28年 6 25	
竣工	令和 元年 11 30	
監理		監理　日建・上田特定監理業務等共同企業体
施工		施工　大成・大旺新洋特定建設工事共同企業体

完成図　意-13

日建・上田特定設計委託業務共同企業体

高知市都市建設部公共建築課					
担当	担当	係長	課長補佐	副参事	課長

高知市新庁舎建設工事

特記仕様書 (9)

意 1 － 11

NO. 0－140004－B